

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和59年8月20日 第19報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	20		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	20		
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	160		
(藍) <i>Anabaena</i> sp.*	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	880	○	◎
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	360		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus</i> sp.	20		
(緑) <i>Schroederia</i> sp.	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	◎	○
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i>	160		
(緑) <i>Scenedesmus opoliensis</i>	80		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	240	7.6	16.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1260	39.9	34.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	2.5	3.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1580	50.0	46.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3160	総体積	4.32E+06
種類数	14	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	880

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。